

# 事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部生涯学習文化課		■担当係	生涯学習係
■評価事業名称	国際交流ルーム管理運営事業			
■事業開始年度	平成8年度			
■評価事業コード	090200 - 059	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進		
	■施策	03 国際化に対応したまちづくりの推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市多文化共生指針			
■事業の概要	姉妹都市・友好都市及び諸外国との交流促進を図るとともに、市内在住外国人への情報提供、相談業務、日本語指導等のサービスを行い、また、市民等への語学講座、交流会等を通じ国際理解を深め、国際交流の推進を図る。北上市生涯学習センター内に設置した北上市国際交流ルームにおいて、国際交流に関する事業を実施するため、一般社団法人北上市国際交流協会とアドバイザー業務委託契約をし事業を実施。			

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	国際交流ルーム管理運営事業	市民、在住外国人	国際交流に関する市民へのアドバイス、外国人相談業務、日本語指導など外国人支援事業、多文化共生に係る取り組み等	国際交流に関する市民へのアドバイス、外国人相談業務、日本語指導など外国人支援事業、多文化共生に係る取り組み等

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	4,262	10,313	10,198	10,170	
人件費	1,862	2,102	1,908	1,768	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	6,124	12,415	12,106	11,938	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	主催行事参加者数	11,614人	3,618人	3,042人	4,913人	主催行事に参加した日本人と外国人の数
02	主催行事数(講座・交流会等)	10事業	13事業	10事業	12事業	各種外国語講座や交流事業を主催した事業数
03	国際交流ルーム来館者数		11,957人	7,913人	8,739人	国際交流ルームを訪問した日本人と外国人の数

# 事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

04	国際交流ボランティア数	16371人	163人	157人	国際交流ボランティア登録者(登録料納入者)数
----	-------------	--------	------	------	------------------------

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

国際交流ルームは、在住する外国人の増加、さらに展勝地や夏油高原スキー場などの観光客の増加により、役割が増加及び多様化してきており、当市の多文化共生社会のさらなる構築には、事業を拡充する必要がある。

### 問題点・課題等

少数の常勤・非常勤職員において、事業展開しているため、多文化共生社会の更なる充実を図るため、事業を内容を拡充するには人員が少なすぎる。また、地域、事業所及び市が一体となって、主体的に多文化共生社会を作り上げていく醸成が図られていない。

#### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

#### 2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

#### 3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

#### 4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

#### 5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

#### 6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

#### 7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

#### 8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

#### 9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

#### 10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

#### 11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

国際交流ルームの人員体制を充実させ、地域、事業者及び市の各自が主体的な多文化共生社会を実現させるためには、補助金の増額が必要である。

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了